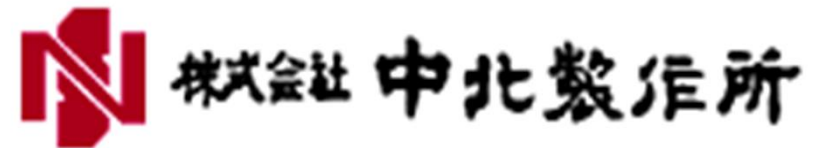




# 平成29年5月期 決算説明会

東証2部 6496



<http://www.nakakita-s.co.jp>

平成29年8月1日 大阪



- I . 会社概要
- II . 平成29年5月期 実績
- III . 平成30年5月期 見通し
- IV . 今後の展望
- V . コーポレートデータ



# I . 会社概要



# 1. 会社概要・沿革

## ■ 会社概要

会社名：株式会社中北製作所  
代表者：代表取締役社長 中北 健一  
所在地：大阪府大東市  
設立：1937年5月  
資本金：1,150百万円  
事業内容：自動調節弁・バタフライ弁・  
遠隔操作装置製造・販売  
従業員数：343名(2017年5月末現在)



## ■ 沿革

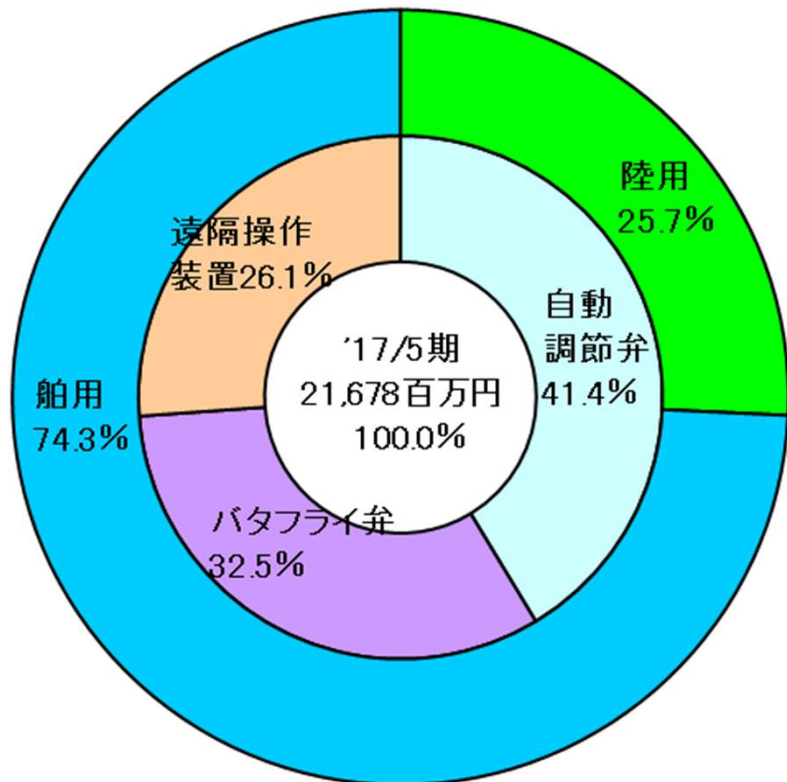
1930年 5月 初代社長 中北辨造が大阪市北区松ヶ枝町において自動調節弁の製造開始。  
1937年 5月 大阪市北区今井町に移転し、株式会社中北製作所設立。  
1939年 6月 大阪市城東区蒲生町に移転。  
1960年11月 工場拡張のため大東市に工場建設(第1期工事)  
1970年 5月 大東新工場完成、生産組織を新工場に集約する。  
1971年12月 株式を大阪証券取引所市場第二部に上場する。  
1972年12月 業務一体化のため本社組織を大東市へ移転する。  
1994年 9月 ISO9001(国際品質保証規格)の認証を取得する。  
2013年 7月 東京証券取引所と大阪証券取引所との現物市場の統合に伴い、東京証券取引所市場第二部に株式を上場。



## 2. 事業内容

当社は船舶や火力発電等の陸上プラント向けに、流体の自動制御システムとして下記の品種を全品受注生産により供給している

- ・製品クオリティも「高圧ガス」「ASME」「CEマーク」「船級認定」など、数々の公的認定で保証されており、高い品質が保たれている。
- ・製造工程においても、品質マネジメントシステムである国際規格のISO9001認証を取得し、設計から製造に至るまでの、トータルで高度な品質管理を実現している。



品種別用途

陸船別	用途		品 種		
			自動調節弁	バタフライ弁	遠隔操作装置
船用	カーゴライン	タンカー		○	○
	バラストライン	全船種		○	○
	機関室	全船種	○		
陸用	発電プラント	火力発電	○	○	
		原子力発電	○	○	
		ガスタービン発電	○	○	
	その他	ケミカルプラント等	○	○	



# 3. 製品

## 船用製品(自動調節弁・バタフライ弁・遠隔操作装置)



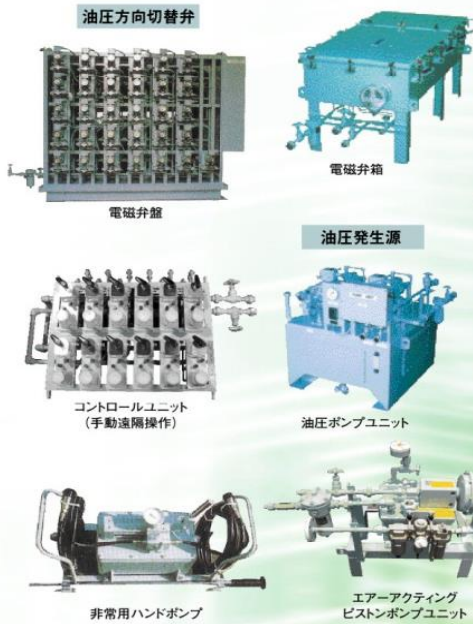
中小型船舶から原油運搬用の大型タンカー、さらに環境にやさしい天然ガスを運搬するLNG船まで、船舶輸送を支えているのは中北ブランドです。

【船舶を支える中北ブランド】

**S**hips Supported by NAKAKITA Brand

中北製作所の製品は船舶用にも多く使用されており、バラ積み船、タンカー、LNG船などの幅広い分野の船舶においてカーゴ及びバラストラインのバタフライ弁をコントロールパネルから遠隔操作し、船体姿勢制御や荷役制御のサポートをしています。また、船舶用エンジンに関わる燃料油加熱装置や主機清水冷却装置、主機潤滑油冷却装置などで、燃料油の温度を一定に制御することやエンジンの冷却水制御、エンジンに冷却した潤滑油を送り込むといった大切な役割も担っています。

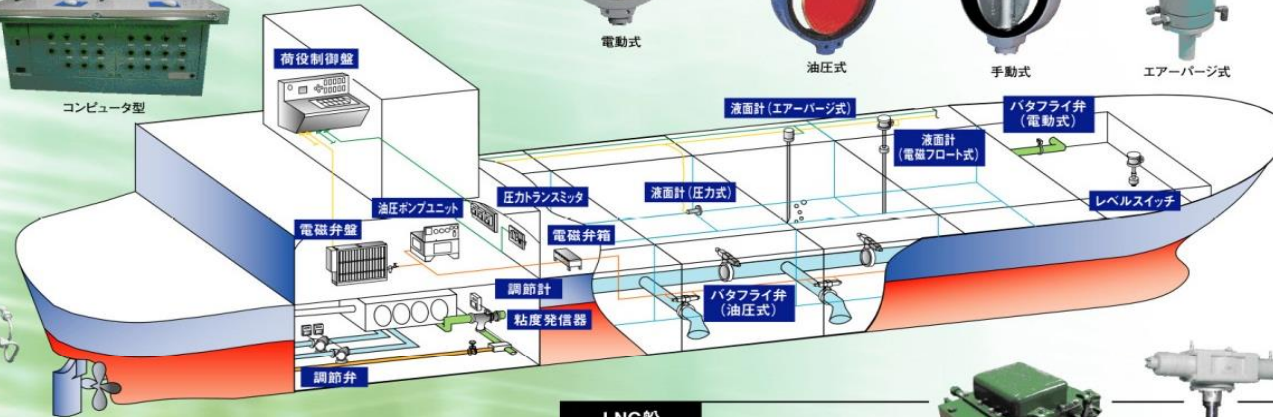
### カーゴ/バラスト 弁遠隔操作システム



### バタフライ弁



### 液面指示装置



### LNG船

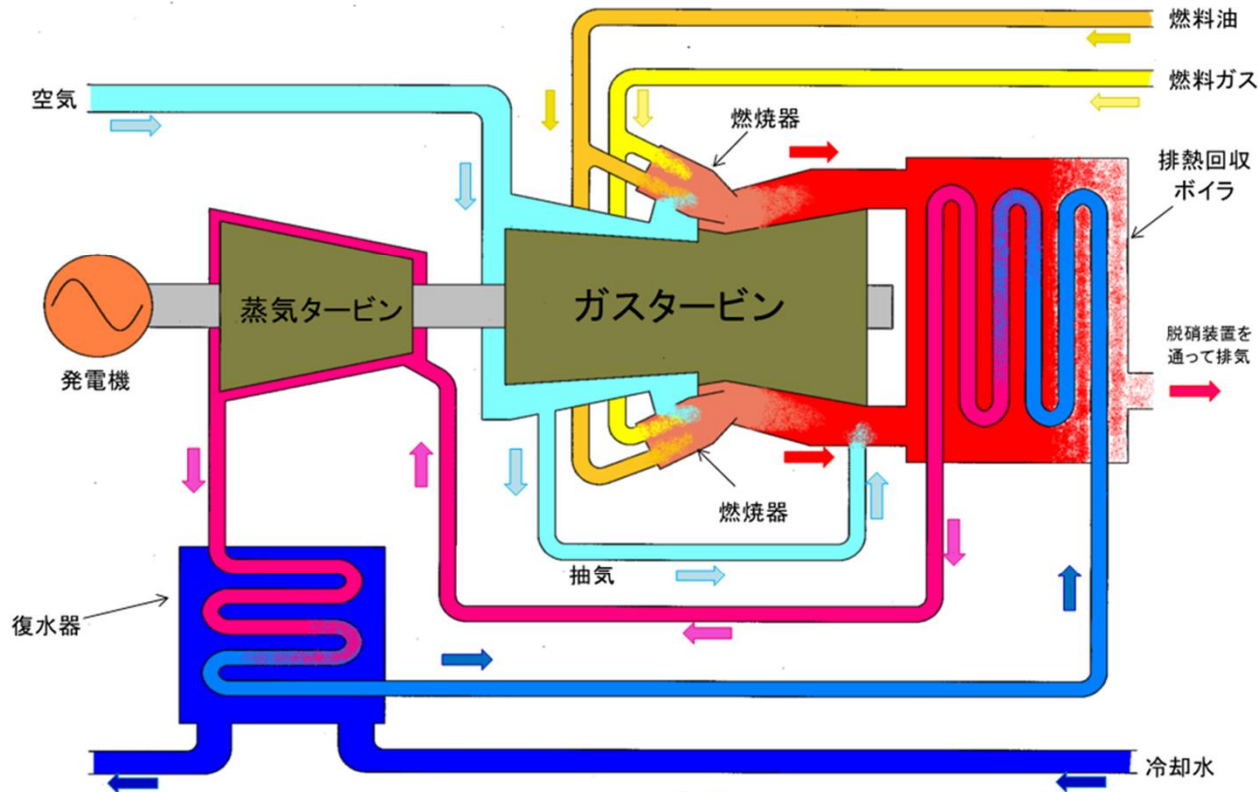


### 自動制御機器(機関室・ボンブルーム)

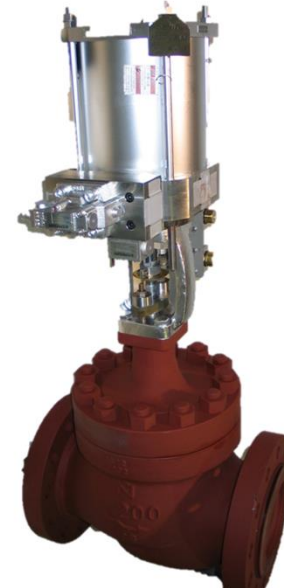




# ガスタービンコンバインドサイクル火力発電所用制御弁



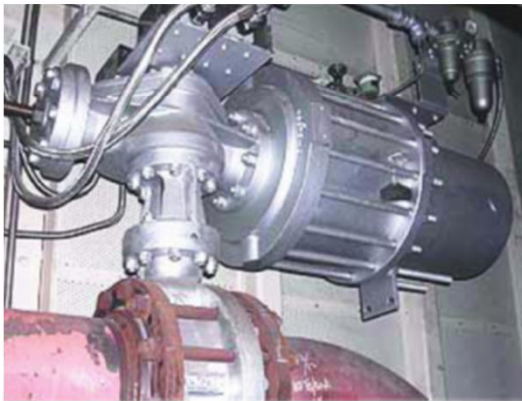
燃料ガス制御弁



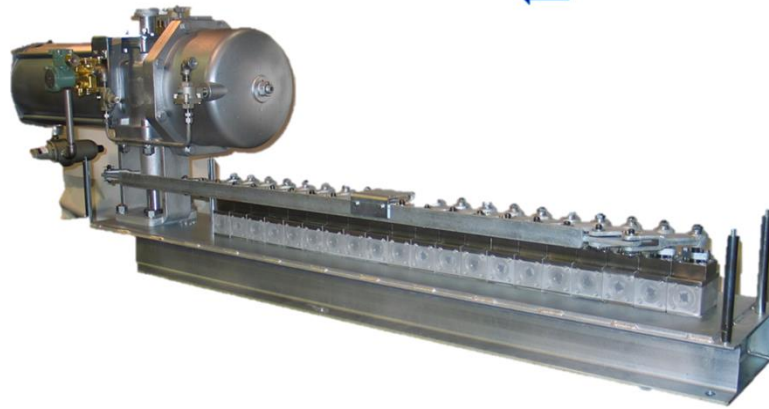
燃料ガス遮断弁



燃料ガス温度制御弁



コンプレッサ抽気弁



20連ボール弁



パージエアON/OFF弁



潤滑油圧力制御弁

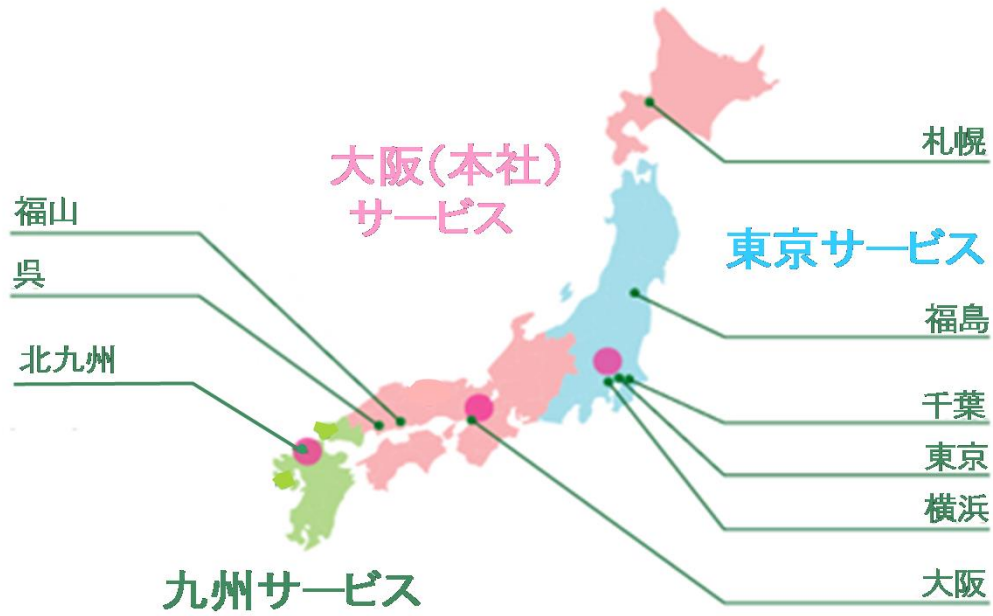


潤滑油温度制御弁

# サービス網



## 国内サービス網



## 本社



## 海外サービス網





## 4.中北製作所の特徴と強み～まとめ～

- 1.高品質・多種多様なバルブを最新の生産技術と管理技術を駆使して生産
- 2.顧客のニーズに対応した完全受注生産
- 3.船舶用のバルブはハード面だけでなくコントロールシステムまでを一括生産
- 4.技術サポート、メンテナンスなど製品ライフサイクルの全てに対応
- 5.国内のほとんど全ての発電所に納入実績を持ち陸上発電プラントにも強み
- 6.省エネ環境船や次世代高効率発電システム等、急進する技術革新に対処し、顧客ニーズに即した製品開発
- 7.高度な品質管理体制に基づき、全製品の全数製品検査の実施並びに超低温・高温環境での実証試験環境の整備



## Ⅱ. 平成29年5月期 実績



# 1. 概要

単位:百万円、%、円

	16/5	17/5	前年同期比		17/5 H28.12 修正計画	同修正計画比	
			増減	同率		増減	同率
売上高	19,536	21,678	2,141	11.0	21,000	678	3.2
営業利益	1,121	1,613	492	43.9	1,500	113	7.6
経常利益	1,274	1,774	500	39.2	1,670	104	6.3
当期純利益	846	1,203	356	42.1	1,120	83	7.4
一株当たり当期純利益	45.17	65.24			60.74		
一株当たり配当金	20.00	28.00			20.00		
総資産	26,646	26,357					
純資産	19,574	20,479					

- 売上高は、平成28年12月修正計画を若干上回った。
- 利益面に関しても、部品の収益も順調に推移したこともあり、営業利益、経常利益、当期純利益はそれぞれ同計画を上回った。

## 2. 生産・受注・受注残の推移

生産高 単位:百万円、%

	16/5	17/5	前年同期比	
			増減	同率
自動調節弁	9,176	8,937	▲239	▲2.6
バタフライ弁	5,332	7,022	1,690	31.7
遠隔操作装置	4,954	5,648	694	14.0
生産高合計	19,463	21,608	2,145	11.0

受注高

	16/5	17/5	前年同期比	
			増減	同率
自動調節弁	9,934	8,771	▲1,163	▲11.7
バタフライ弁	8,173	5,161	▲3,011	▲36.8
遠隔操作装置	5,849	5,454	▲394	▲6.8
受注高合計	23,957	19,387	▲4,570	▲19.1

受注残

	16/5	17/5	前年同期比	
			増減	同率
自動調節弁	4,852	4,657	▲194	▲4.0
バタフライ弁	6,615	4,731	▲1,883	▲28.5
遠隔操作装置	4,802	4,589	▲212	▲4.4
受注残合計	16,269	13,978	▲2,290	▲14.1

### ■生産高(前年同期比11.0%の増)

生産高は、バタフライ弁が前年同期比31.7%、遠隔操作装置が同14.0%と増加し、全体では同11.0%の増加となった。

### ■受注高(同19.1%の減)

新造船市況が低調であり、バタフライ弁が前年同期比36.8%、遠隔操作装置が同6.8%、自動調節弁が同11.7%と減少し、全体では同19.1%の減少となった。

### ■受注残(同14.1%の減)

船用関連の受注環境が厳しい影響を受け、受注残高は前年同期比14.1%の減少となった。





### 3.部門別売上高

単位：百万円、%

	16/5	17/5	17/5		
			増減	同率	構成比
自動調節弁	9,211	8,965	▲245	▲2.7	41.4
バタフライ弁	5,352	7,045	1,693	31.6	32.5
遠隔操作装置	4,973	5,667	693	14.0	26.1
合計	19,536	21,678	2,141	11.0	100.0

単位：百万円、%

	16/5	構成比	17/5	17/5		
				増減	同率	構成比
陸用	4,893	25.0	5,580	686	14.0	25.7
船用	14,643	75.0	16,097	1,454	9.9	74.3
合計	19,536	100.0	21,678	2,141	11.0	100.0

- 船用関連でタンカー向け製品の販売増加により、バタフライ弁が前年同期比31.6%、遠隔操作装置が同14.0%とそれぞれ増加し、全体では同11.0%の増加となった。
- 船用は前期に比べ、1,454百万円増加(同9.9%増)し、陸用も、686百万円増加(前年同期比14.0%増)したが、全体では2,141百万円増加(同11.0%増)となった。



## 4. 地域別売上高

単位：百万円、%

	16/5	17/5	17/5		
			増減	同率	構成比
国内	15,252	16,894	1,642	10.8	77.9
韓国	1,420	1,335	▲84	▲6.0	6.2
中国(香港)	2,077	2,693	616	29.7	12.4
その他	786	754	▲32	▲4.1	3.5
合計	19,536	21,678	2,141	11.0	100.0
輸出比率	21.9	22.1	0.2		

- 国内・中国向けは、船用・陸用関連も順調で、国内向けは、前年同期比10.8%、中国向けは同29.7%の増加となった。
- 輸出比率は22.1%で同0.2%の増加。



## 5. 損益計算書

単位:百万円、%

	16/5		17/5			
		構成比		増減	同率	構成比
売上高	19,536	100.0	21,678	2,141	11.0	100.0
売上原価	16,556	84.7	18,088	1,532	9.3	83.4
売上総利益	2,980	15.3	3,589	608	20.4	16.6
販売費・一般管理費	1,859	9.5	1,975	116	6.3	9.1
営業利益	1,121	5.7	1,613	492	43.9	7.4
営業外損益	153	0.8	161	7	5.1	0.7
経常利益	1,274	6.5	1,774	500	39.2	8.2
特別損益	30	0.2	0	▲30	-	-
税引前当期純利益	1,304	6.7	1,774	470	36.0	8.2
法人税等	458	2.4	571	113	24.8	2.6
当期純利益	846	4.3	1,203	356	42.1	5.6

■売上高は対前年同期比11.0%の増加。

■利益面では、当社の技術力をより発揮できるタンカー向け製品の販売増加に伴い、営業利益は対前年同期比43.9%、経常利益は同39.2%、当期純利益は同42.1%の大幅な増加となった。



# 6. 貸借対照表

単位:百万円

	16/5	17/5	増減	主要増減要因
流動資産合計	20,866	21,249	383	
現金・預金	5,810	6,232	421	
売上債権	8,132	8,511	378	
棚卸資産	4,172	4,232	59	
その他	2,750	2,273	▲476	短期運用 ▲408
固定資産合計	5,780	5,107	▲672	
有形固定資産	3,184	3,017	▲167	減価償却 277 投資 113
無形固定資産	16	19	2	
投資その他の資産	2,578	2,070	▲508	長期運用 ▲506
資産合計	26,646	26,357	▲289	
流動負債合計	4,949	5,547	597	
仕入債務	3,819	3,517	▲301	
1年内返済長期借入金	0	900	900	長期借入 900
その他	1,129	1,129	0	
固定負債合計	2,122	330	▲1,792	長期借入 ▲1,850(長借返済 950)
負債合計	7,072	5,878	▲1,194	
純資産合計	19,574	20,479	904	
負債・純資産合計	26,646	26,357	▲289	





## Ⅲ. 平成30年5月期見通し



# 1. 概要

## 見込み

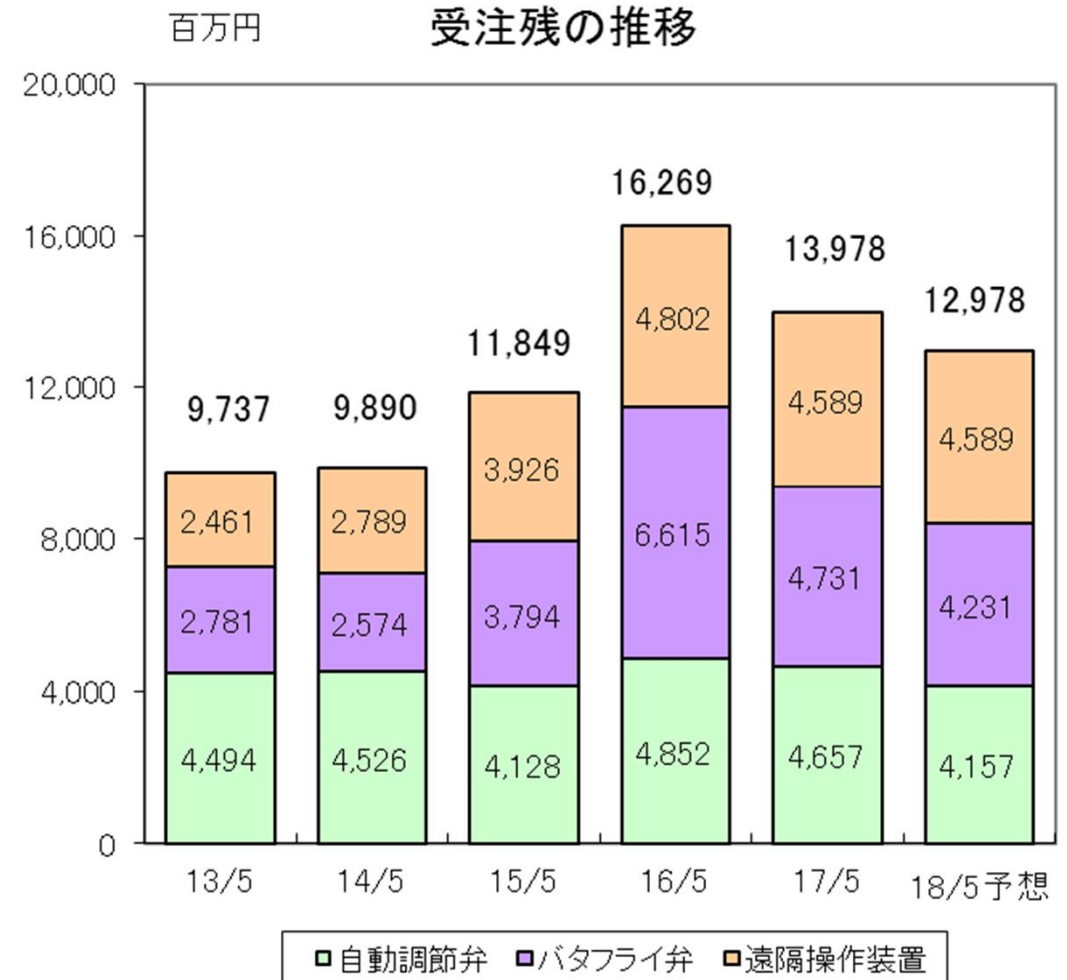
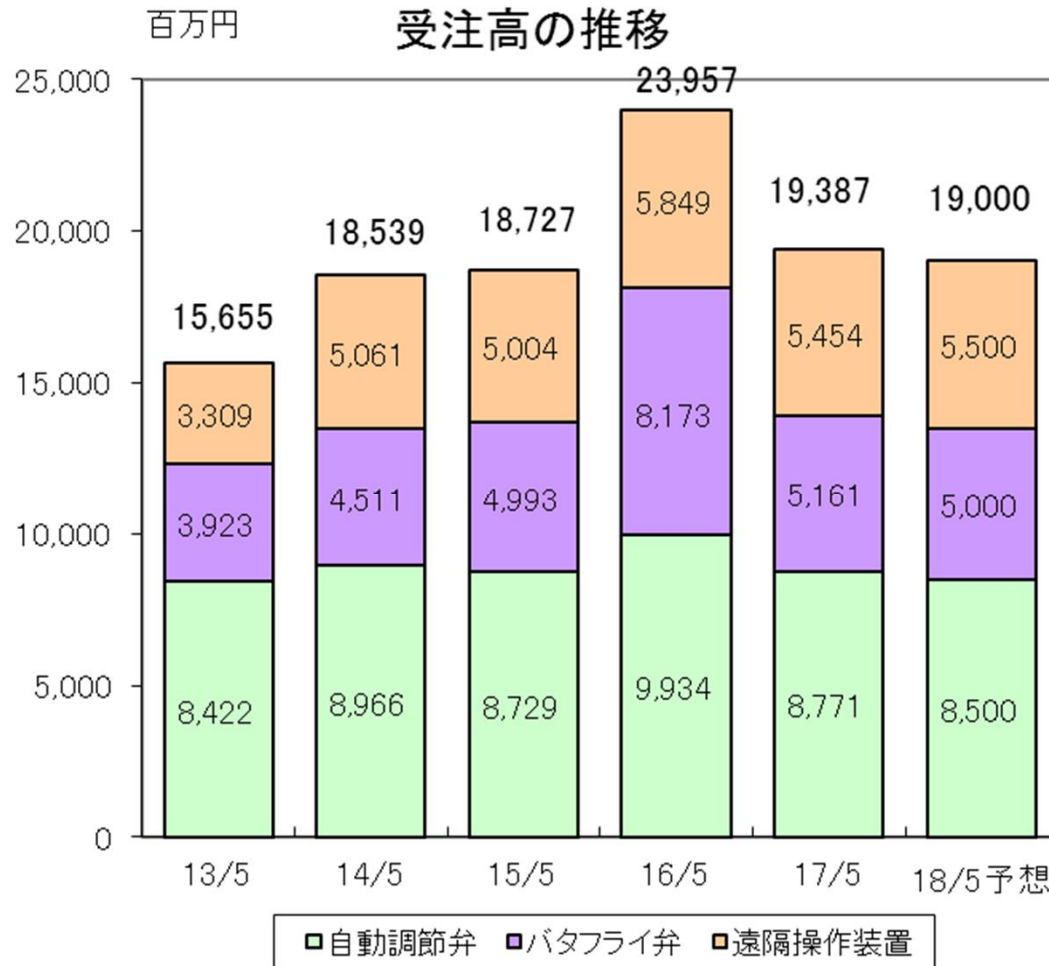
単位：百万円、%、円

	17/5	18/5	前年同期比	
			増減	同率
			売上高	21,678
営業利益	1,613	1,320	▲293	▲18.2
経常利益	1,774	1,480	▲294	▲16.6
当期純利益	1,203	1,020	▲183	▲15.2
一株当たり利益	65.24	※ 55.32		
一株当たり配当金	28.00	※ 24.00		

- 新造船マーケット低調の影響もあり、売上高は200億円(前年同期比7.7%減)の計画。
- 利益については、タンカー向け製品の販売減少、船用関連の受注採算の悪化も見込んでいる。

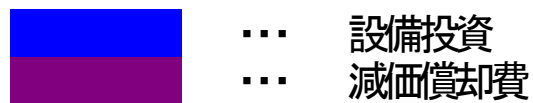
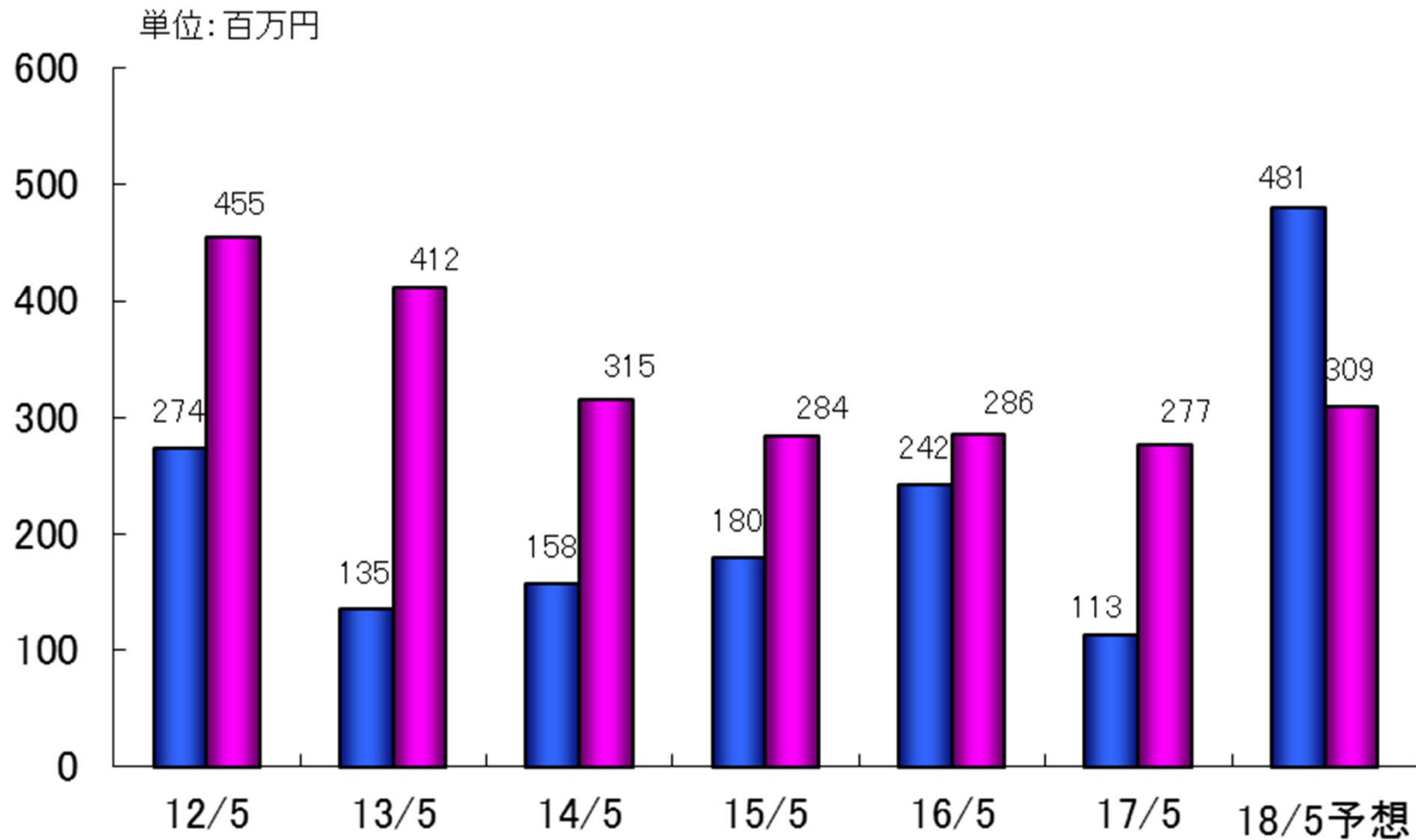
※平成29年8月29日開催予定の第91回定時株主総会において株式併合に係る議案が承認可決された場合、期末における一株当たり利益、一株当たり配当金は変更されます。

## 2. 受注・受注残の見通し



■ 造船業界は、受注環境が厳しく、価格競争も激しい状況にあるが、受注獲得に向けたきめ細かな営業活動に注力し、受注高190億を目指す。

### 3. 設備投資と減価償却費の見通し





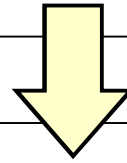


## IV. 今後の展望

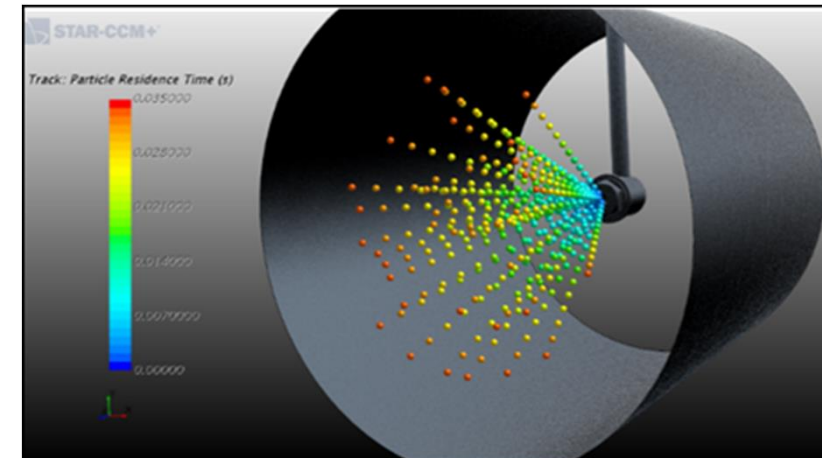
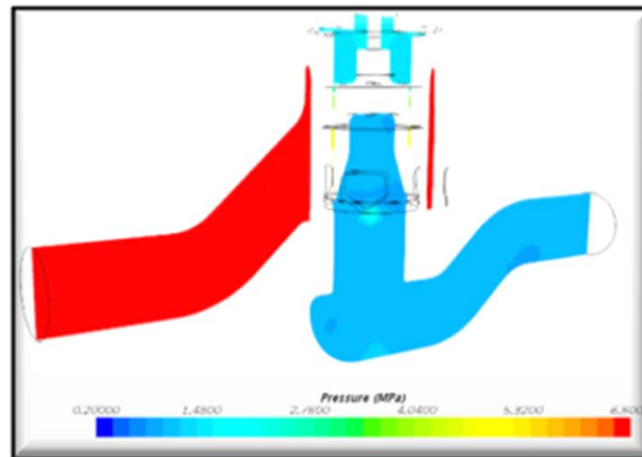
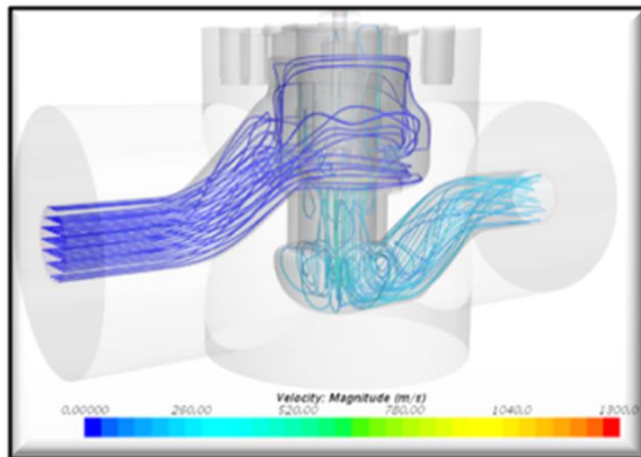
# 1. トピックス

## ①流体制御メーカーとしての現象の把握・解析力をさらに強化しています

複雑な現象(混相流・流体力による変形・噴霧等)が解析できるハイエンド流体・構造解析ソフトウェア**STAR-CCM+**を導入

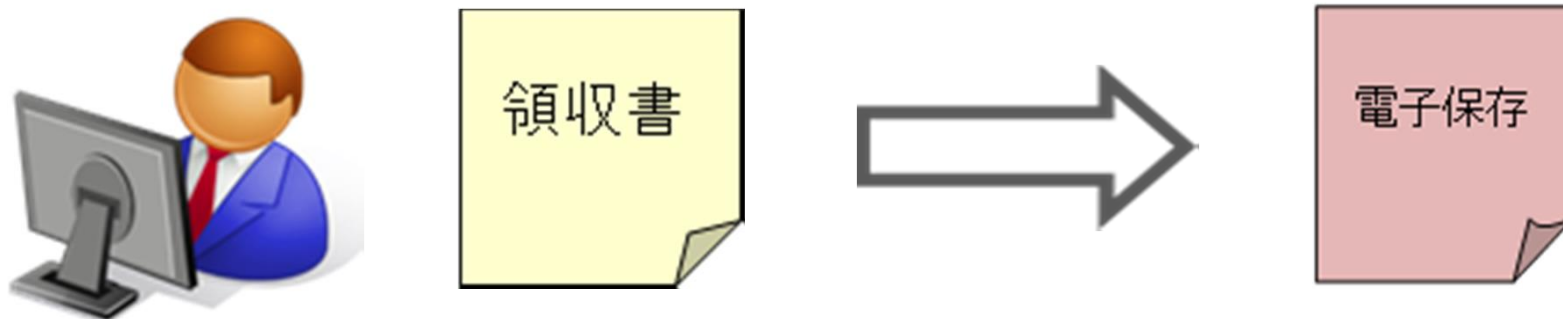


- ・お客様のご要望に応える、より高品質で外乱要因を最小限にするような製品の**設計・開発**を図る
- ・解析技術の強化による開発スピードアップや一層の品質確保を目指す



## ②領収証等のスキャナ保存をスタートさせます

- 1) **税務調査・会計監査・内部監査対応の効率化を図ります**
  - ・検索効率向上による業務のスピード化と証票コピーの削減
- 2) **旅費経費精算システムと連動し、内部統制機能のさらなる強化を図ります**
  - ・ITを利用した透明性の確保・信頼性の向上
- 3) **証票保管スペースの削減を図り、災害時のバックアップとしても利用します**



### ③社員食堂のIT化を行っています

**社員の健康管理につなげるため**新社員食堂システムを立ち上げました

社員番号	営業日付	エネルギー	タンパク質	脂質	炭水化物	塩分
11	20170601	28	1.8	0.7	3.6	1.3
11	20170601	0	0	0	0	0
11	20170601	789	22.9	24.5	114	1.1
12	20170601	28	1.8	0.7	3.6	1.3
12	20170601	789	22.9	24.5	114	1.1
12	20170606	28	1.8	0.7	3.6	1.3
12	20170606	649	23.1	16	97	1.5
12	20170607	28	1.8	0.7	3.6	1.3
12	20170607	206	14.5	10.3	15	2.3
12	20170608	28	1.8	0.7	3.6	1.3
12	20170608	763	20.2	12	142	2.3
1015	20170606	28	1.8	0.7	3.6	1.3
1015	20170606	649	23.1	16	97	1.5
1015	20170606	649	23.1	16	97	1.5

**【栄養素表示画面】**

表形式

炭水化物	500g
たんぱく質	100g
カロリー	200kcal
塩分	10g
脂質	5.0g
ナトリウム	0.78mg

棒グラフ

レーダーチャート

食事内容と健康診断結果の突合せ



オートレジスタによる決済





## 2. 中長期的な経営戦略～

### 【当社の企業価値】

1. 熟練した技術を有する人的資産及び高度な品質管理体制に裏打ちされた高度な技術力・品質管理能力
2. 長年にわたる顧客との強固な関係
3. 創業以来、脈々と生き続ける「フロンティア・スピリット」(進取発展)

### 企業価値確保・向上への取組み

#### 生産性向上活動

- ・継続的な製造強化のために生産性向上に関する改善への取組みを行い、変化への機敏な対応ができる体制づくり

#### 原価低減活動

- ・品種ごとのコスト分析、設計や工法見直し等によるコストダウンへの取組み
- ・不適合・ムダの排除による原価低減

#### 開発提案型の営業活動

- ・常にお客様とコミュニケーションを取りながら、他社より一歩先んじた提案のできる顧客ニーズに基づく開発提案型の企業を目指す

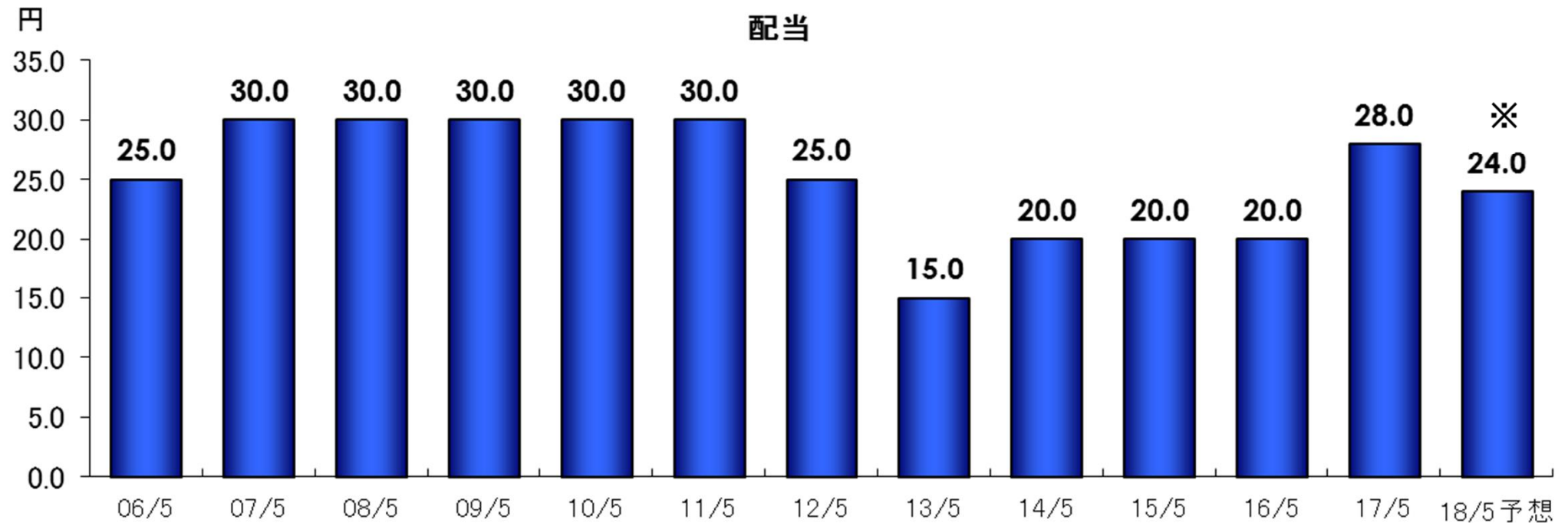
#### 人材育成

- ・技能レベルアップと技能伝承

信頼されるものづくり企業としての勝残り



### 3.配当実績・予想

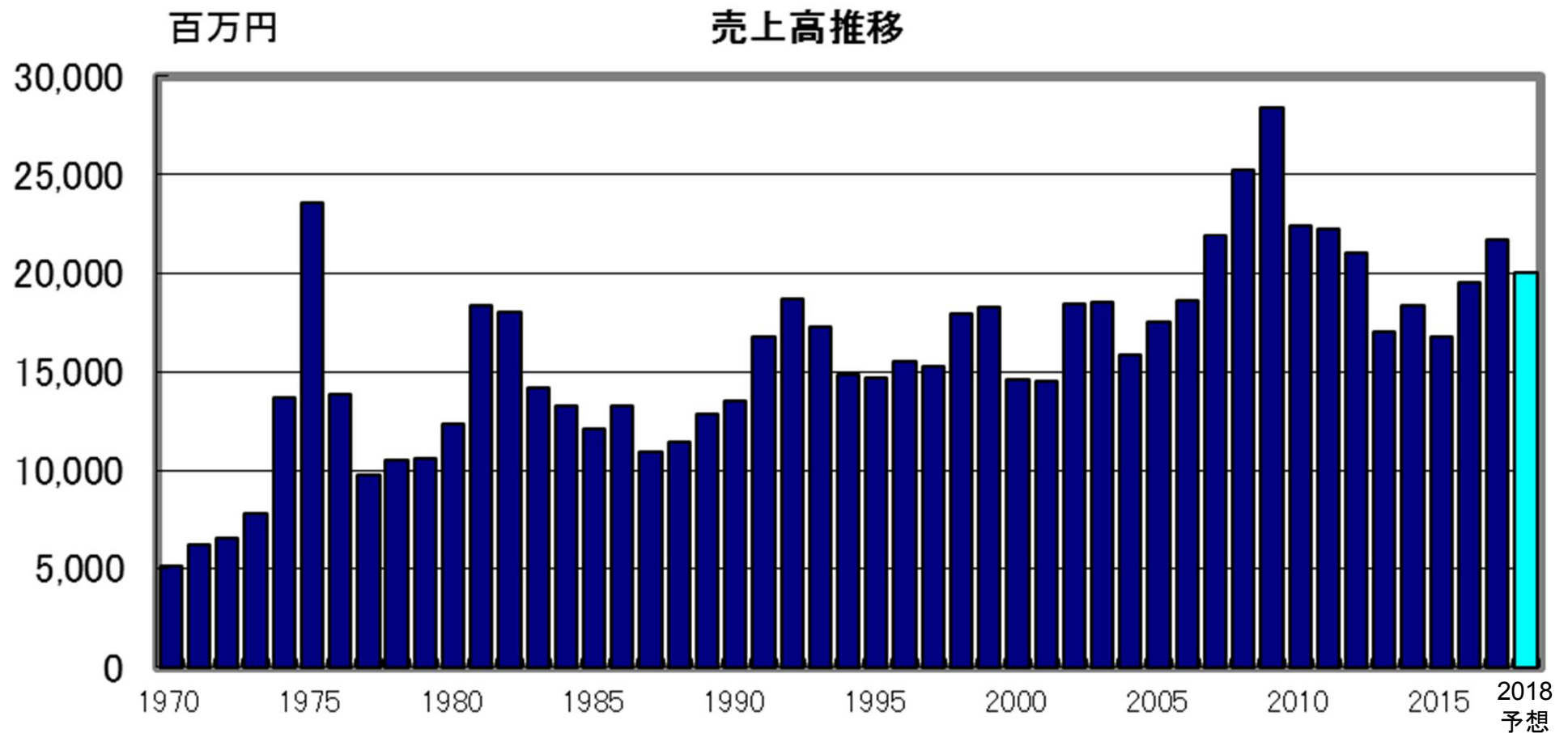


※平成29年8月29日開催予定の第91回定時株主総会において株式併合に係る議案が承認可決された場合、期末配当の金額は変更されます。



## 4. まとめ

■国内の景気は緩やかな回復基調にあるものの、当社の主要な受注先であります造船業界におきましては、新造船市況も低調で、価格競争も厳しい状況にあります。  
 このような環境のなか、受注獲得に向けたきめ細かな営業活動に注力し、また、さらなる生産性向上活動に努め、計画の達成を目指してまいります。





# V. コーポレート・データ



単位:百万円、%、円

	13/5	14/5	15/5	16/5	17/5	18/5予想
売上高	17,012	18,387	16,768	19,536	21,678	20,000
営業利益	588	1,349	780	1,121	1,613	1,320
営業利益率	3.5	7.3	4.7	5.7	7.4	6.6
経常利益	771	1,528	963	1,274	1,774	1,480
経常利益率	4.5	8.3	5.7	6.5	8.2	7.4
当期利益	468	917	595	846	1,203	1,020
当期利益率	2.8	5.0	3.6	4.3	5.6	5.1
総資産	23,828	25,298	25,346	26,646	26,357	
株主資本	18,456	18,976	19,024	19,241	20,075	
株主資本比率	77.5	75.0	75.1	72.2	76.2	
株主資本利益率	2.5	4.8	3.1	4.4	6.0	
1株当たり利益	24.4	48.3	31.5	45.2	65.2	※ 55.3
1株当たり配当金	15.0	20.0	20.0	20.0	28.0	※ 24.0

※平成29年8月29日開催予定の第91回定時株主総会において株式併合に係る議案が承認可決された場合、期末における一株当たり利益、一株当たり配当金は変更されます。



単位:百万円

陸船別売上	13/5	14/5	15/5	16/5	17/5	18/5予想
陸用売上	5,992	5,905	5,542	4,893	5,580	5,500
船用売上	11,019	12,481	11,225	14,643	16,097	14,500
合計	17,012	18,387	16,768	19,536	21,678	20,000

品種別売上	13/5	14/5	15/5	16/5	17/5	18/5予想
自動調節弁	8,863	8,935	9,126	9,211	8,965	9,000
バタフライ弁	4,593	4,718	3,773	5,352	7,045	5,500
遠隔操作装置	3,555	4,733	3,868	4,973	5,667	5,500
合計	17,012	18,387	16,768	19,536	21,678	20,000

生産	13/5	14/5	15/5	16/5	17/5	18/5予想
自動調節弁	8,700	8,792	9,061	9,176	8,937	9,000
バタフライ弁	4,514	4,642	3,746	5,332	7,022	5,500
遠隔操作装置	3,487	4,657	3,840	4,954	5,648	5,500
合計	16,702	18,092	16,648	19,463	21,608	20,000

受注	13/5	14/5	15/5	16/5	17/5	18/5予想
自動調節弁	8,422	8,966	8,729	9,934	8,771	8,500
バタフライ弁	3,923	4,511	4,993	8,173	5,161	5,000
遠隔操作装置	3,309	5,061	5,004	5,849	5,454	5,500
合計	15,655	18,539	18,727	23,957	19,387	19,000

受注残	13/5	14/5	15/5	16/5	17/5	18/5予想
自動調節弁	4,494	4,526	4,128	4,852	4,657	4,157
バタフライ弁	2,781	2,574	3,794	6,615	4,731	4,231
遠隔操作装置	2,461	2,789	3,926	4,802	4,589	4,589
合計	9,737	9,890	11,849	16,269	13,978	12,978

・本資料は、ご参考のために株式会社中北製作所が独自に作成したものです。本資料に関する事項について貴社が意思決定を行う場合、内容によっては事前に貴社の弁護士、会計士、税理士等にご確認いただきますようお願い申し上げます。本資料中に、新聞その他の情報メディアによる報道、民間調査機関等による各種刊行物、インターネットホームページ、有価証券報告書及びプレスリリース等の情報が含まれている場合がありますが、株式会社中北製作所はそれらの情報を、独自の検証を行うことなく、そのまま利用しており、その正確性及び完全性に関して責任を負うものではありません。また、本資料のいかなる部分も一切の権利は株式会社中北製作所に属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。